

2023年4月11日

各位

会社名 株式会社ソラスト
代表者名 代表取締役社長 CEO 藤河 芳一
(コード番号 6197 東証プライム)
問合せ先 専務執行役員 CFO 管理本部長 原田 圭一
(TEL. 03-6890-8904)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

この度、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

1. 実効性評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票をすべての取締役及び監査役に配付し、回答を得ました。この結果に基づいて、コーポレート・ガバナンス委員会（以下「CG委員会」）及び取締役会において取締役会の実効性に関する分析及び検証を行い、今後の課題等について建設的な議論を行いました。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 対象者 | 全取締役及び監査役 合計 12名 |
| (2) 方法 | Web アンケート調査（無記名式） |
| (3) 実施時期 | 2023年1月 |
| (4) 回答方法 | 5段階評価+フリーコメント |
| (5) 評価項目（概要） | ① 取締役会の構成 ② 取締役会の運営 ③ 取締役会の文化 ④ 取締役会による監督・ガバナンス ⑤ 経営戦略に関する議論等 |

2. 実効性評価の結果の概要

当社取締役会は、構成・運営状況等において、経営上重要な意思決定や業務執行の監督を行うための体制が構築されていることを確認しました。また、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含めて活発な議論が行われていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性の更なる向上に向けた課題として、以下の意見が挙がりました。

- ・ リスク管理に関する議論の一層の充実に加え、長期的な課題に対する議論の強化
- ・ 取締役会として次期経営人材の育成へのより積極的な関与

3. 評価の結果を踏まえた今後の対応

今回の評価結果を踏まえ、当社グループのあるべきコーポレート・ガバナンスについて CG 委員会及び取締役会において議論した結果、以下の取り組みを推進することを確認しました。

① リスク管理体制強化

- ・リスク・コンプライアンス委員会の開催回数増加と重点課題に関する取り組み強化
- ・取締役会でのモニタリング、議論の充実（上記委員会報告を含む）

② 長期的な課題に関する議論の深掘り

③ 次期経営人材の育成

- ・次期経営人材育成とパイプライン拡充に関する議論
- ・様々な機会を活用し、社外取締役から次期経営人材に対する育成観点でのアドバイスの強化

これらの取り組みの推進等により、引き続き、取締役会の実効性向上、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

4. 〈参考〉 前回評価結果に対する取り組み

前回評価（2022年2月）結果及びその後の議論では、「会社の成長に合わせた付議事項の見直し」とそれに伴う「中長期的な重要テーマに関する議論の実施」の必要性が認識されました。また、「最高経営責任者の後継者計画」について引き続き議論・監督を行う重要性や「ジェンダーダイバーシティの推進」のために、女性取締役の選任のみならず、幹部クラスにおける積極的な女性登用とそのための人材育成が重要課題であることが認識されました。

この評価結果を踏まえ、当社では以下の取り組みを行っています。

- ・ジェンダーダイバーシティの推進として、女性のキャリア支援施策を実施。2023年4月1日時点において、取締役9名中女性1名（前年+1名）、執行役員13名中女性2名（前年+1名）
- ・2023年6月より取締役会への付議基準を改定し、取締役会から業務執行部門への積極的な権限委譲を行った。この結果、取締役会の議案から決議事項が減り、業務執行報告及び中長期的課題について意見交換・議論する機会が増加
- ・最高経営責任者の後継者計画については、2023年1月に開催した指名・評価報酬委員会において審議を行った。2023年度も議論を継続することを確認した

以上